

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「夢をかなえるために」

新しい学年が始まり、一ヶ月がたちました。

新しい環境や新しい出会いがあり、新しい生活がスタートしました。新しい生活にも慣れ、落ち着いて生活ができた頃だと思えます。

学校では、学年・学期の始まりに目標を立てます。勉強のこと、部活動（スポーツ）のことなど、いろいろと目標を立ててくれます。

一ヶ月がたった今、目標に向かってしっかりと進むことができているでしょうか。

よく「夢」や「目標」を持ちなさいといえます。しかし、「夢」や「目標」を持つだけで、その「夢」がなかったり、「目標」を実現したりすることはできません。

それでは、「夢をかなえるために」は、どうすればいいのでしょうか。

オリンピック金メダリスト「谷本歩実」を育て、ご自身も金メダ

リストの「古賀稔彦」さんは、柔道の指導の中で目標は、「金メダルをとりたいたい」ではなく、「〃をとる」という断言した目標をたてさせ、その目標に向けて、より具体的に短期間の目標をたてながら練習をするそうです。

うまくいかないときには、ノートにそのことを書き、解決策を自分で探し、書くという「自問自答ノート」をつくるように指導してきましたそうです。

そうすることで、試行錯誤を繰り返し、同じような壁にぶつかった時に、その壁を自分で乗り越え目標に近づくことができるということでした。

私たちも、夢をかなえるために、長期的な目標と、より具体的な短期的な目標をたて、うまくいかなかったときには、「今の方法でいいのか」と振り返り、自問自答しながら夢に向かって生活してみてはどうでしょうか。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野中学校 田淵 徹

のびのびひろば

交通ルール守ろうね!!



交通安全を守ります

4月4日、夢広場で交通安全推進運動に参加してきました。まず、「ぼくたち、わたしたちは交通ルールを守って、1つしかない大事な命を守ります。」とみんなで唱え、子ども達自身も交通ルールを守ることを約束しました。

それから、運転手さんに「あんぜんうんてんをしてください!」と言って交通安全啓発のチラシや夜行反射材を配り、安全運転を呼びかけました。

運転されている方に「ありがとう。」「わかりました、気をつけるよ!」と言われると緊張気味だった子ども達も思わず笑顔になっていました。

「安全運転して下さい」



おうちの方はチャイルドシートやジュニアシートを車に装着して子ども達の命を守っています。



登降園時には、駐車場をおうちの方と必ず手をつないで歩きます。

「手をあげて、みぎをみて! ひだりをみて! 車が来ていなかったらわたります!」



お散歩の時、友達と手をつなぎ、交通ルールを守って歩いています。

(認定こども園芳野保育園)